



傾聴ボランティア【千葉センター】  
**「ボランティアも参加も楽しんでます！」**  
 長年ボランティア活動をしてきた宇佐川さんは、歳を重ねてもまだまだ積極的に地域活動をしています。民生委員さんの紹介で地域食堂に参加したことをきっかけに、街ねっこの地域コーディネーターと出会い、傾聴ボランティアにつながりました。  
 ご自身の楽しみとしては、健康麻雀教室や地域食堂、いなげサロンに参加して、生活にめりはりをつけています。

**Q,活動を始めたきっかけは？**………



▲サポーターにアドバイスを受けながら仲間と麻雀を楽しみます。

もともと視覚障害者の作業所で、作った製品の検品作業を手伝っていました。その作業所が移転して通うのが大変になってきたため、近くで何か役にたてることのないかと思いました。そこで街ねっこの地域コーディネーターに相談して、風の村いなげサポートハウスでの傾聴ボランティアを紹介してもらいました。



▲宇佐川勝子さん

**Q,やっていたよかったことは？**

傾聴ボランティアでは毎週火曜日の午後、2～3人の方のお話を聞いています。認知症の方もいますが、みなさんのお話を聞くのは楽しいですね。私と同世代か少し年上の方なので、昔話に花が咲き、こちらも元気になるります。大正、昭和期の唱歌集を持って行って、ボランティア時間はいつも歌って終わります。



▲サロンでは来年の干支の布貼り絵を作成。宇佐川さんも積極的にアイデアを出します。

**Q,これからやりたいことは？**

4年前に夫を亡くして今は独り暮らしですが、できるだけ積極的に外に出たいと思っています。最近、近くの公民館で「指笛」を習い始めました。私はまだ、ぜんぜん音が出ないのですが、教室のメンバーは発表会で指笛の曲を演奏しています。きれいな曲の演奏もできるいいのですが、指笛は防災にも役立つというので、がんばって練習しようと思っています。

**お知らせ**

- ◆2月2日【千葉】いなげビレッジ虹と風のマルシェ「もちつき・節分・恵方巻」
- ◆2月27日【千葉】あみいこ園生スポット企画「防災教室」
- ◆3月16日【柏】光ヶ丘子どもフェスタ（予備日23日）
- ◆本紙を送付する際、会員の方には確定申告のための寄付（会費）領収証を同封しています。（既に発送済の方もいらっしゃいます）



各センターで人材大募集！  
 あなたの魅力を貸してください。

ポ ボランティア 参 参加者 仕 仕事 場 場所利用

- 【八街センター】 Tel 043-440-0181  
 ・風の杜ひろば 参 企画参加者 ポ 草取り  
 場 ひろば利用  
 ・子育てサロン 参 参加者  
 ・風のロッジ 場 外出開催・ロッジ利用
- 【柏センター】 Tel 04-7170-0939  
 ・ふれあい健康麻雀教室 参 参加者  
 ・生活支援サービス 仕 ケア者
- 【千葉センター】 Tel 043-290-8017  
 ・地域食堂 参 調理や運営スタッフ  
 ・子どもカフェ 参 運営スタッフ  
 ・生活支援サービス 仕 ケア者  
 ・あみいこ 参 麻雀インストラクター 参 講座参加
- 各センターにお問い合わせください



**明日につながるマルシェ in 風の杜ひろば**

テーマは「いのち・自然・つながり・やさしさ・癒し」

マルシェは、今年で22回目を迎える「あみいこ八街」のメインイベント！  
 2024年11月4日(月祝)、晴天の下、木々を渡る暖かな風の中、たくさんの人でにぎわいました。



昨年からの継続出展者に加え、今年は新たに風の村介護サービス利用者が担当職員と(手作り木のおもちゃ)、また安心システム企画の講師が得意分野(フットケア)を活かして出展しました。寄せられた感想や意見を活かして、次年度も皆さんと一緒に癒しの空間を作りたいと思います。  
 (記:地域コーディネーター富永)

14のブースでは、出展者それぞれが見せたいこと、伝えたいこと、一緒に考えたいことを披露しました。マルシェでは、手作り品の販売に加えて、体験や出展者さんとおしゃべりを大事に考え、そこにいる方々みんなの交流を目指しています。知らなかったジャンルのもに触れて楽しんだり、知識が豊かになったり、体が整ったり、生ライブに癒されたり、いろいろなものを持ち帰って明日につなげてもらいたいのがねらいです。

来場者の声

★内容が多岐にわたっている。  
 ★小さい子供から年配の方まで幅広い方と触れ合えるマルシェ、なかなかありません。  
 ★これからは心を癒す企画がとても大事。  
 ★青空の下でのコンサートが最高！  
 おおらかさが良い！

出展者の声

★会場の風の杜ひろばが素敵。  
 ★平和的で楽しい企画。  
 ★ブレずにやってる！  
 ★世代間の垣根を超えた企画が街ねっこのらしい。



フットケア  
 温熱療法体験  
 骨盤エクササイズ  
 …など体を癒す♡



▲温かみを感じる手作り木のおもちゃ



▲有機野菜、自家製調味料を使った畑食堂菜々摘さんのお弁当を委託販売



▲緑の風の中で JAZZ ライブ♪



▲パステルアート体験

～p.2.3 特集～  
 街ねっこの  
 相談事業



特定非営利活動法人(認定NPO法人)  
 コミュニティケア街ねっと  
 【発行責任者: 飯島 晃子】

〒263-0051 千葉市稲毛区園生町 1107-7  
 【Tel】043-290-8015 【Fax】043-290-8016  
 【E-mail】info@ccmachinet.jp  
 【URL】https://www.ccmachinet.com  
 2025年1月発行



それ、街ねつとに相談してみませんか？ ～最近多い相談から～



「地域づくり」と「相談事業」は、街ねつとの2本柱です。  
地域の方々からは、生活の支援をしてほしい、ボランティアをしたいなどさまざまな相談が寄せられます。  
街ねつとですべて解決できるわけではありませんが、解決につながる方法を探します。

近所に心配な人がいるとき、街ねつとに相談すれば、なんとかしてくれそう

あみいこで顔見知りになったスタッフだから、相談しやすいわ

≡ 地域の方からこんな声をいただいています。

## 街ねつとの相談 2つのカタチ

- Hot Line 相談**  
活動の中で話を聞いたり、電話や窓口などで直接相談。
- Find out 相談**  
出会った人の様子に「気づき」課題をみつけて支援します

## 解決策を探します

- 街ねつとの事業に連携**  
あみいこ、生活支援サービス、地域食堂、シニアサロン、子育て支援(こどもカフェ・親子ひろば・一時預かりなど)
- 外部団体や機関へ**  
地域包括支援センター、役所、社会福祉協議会、障害者基幹相談支援センターなど

## お金の悩み



千葉市の委託で「家計相談支援事業」を行っています。  
家計に問題を抱えている人たちの相談に応じ、家計再建や生活再生に向けた支援を行っています。

- 【子どもの教育資金】大学進学のために奨学金が受給できる見込みだが、それだけでは入学金や学費などが足りない  
→世帯収入状況を聞き取り、社会福祉協議会の教育資金借入を検討し、窓口への相談に同行した。書類等を整えるなどの準備をし、借入が決定して無事に入学。その後、給付金と教育資金の使い方について計画を立て、次年度の授業料等についても支援を行った。
  - 【債務整理】消費者金融からの借入の返済ができず、督促状や催促の連絡もきてどうしたらよいかわからない  
→弁護士との相談に同行したところ、自己破産の提案を受けた。毎月、家計相談を実施し、収支バランスが整ったところで自己破産の手続きを始めた。その後は生活が安定し、家計の自己管理ができるまで面談を継続。現在は少しずつだが預金もできるようになっている。
  - 【生活費が足りない】シングルマザーと無職の息子。家賃を払ってしまうと生活が難しいが、一定以上の収入があるため生活保護も受給できない。2人とも病院通いをしている  
→収支バランスを整えることから始め、息子の就労を検討しながら支援を継続した。
- ※そのほか、税金や公共料金、家賃の滞納、住宅ローンなどの相談が寄せられ、家計相談支援員が解決まで継続的支援を行います。

## 知りたい、教えて！



年を重ねて起こる不安や、知りたいこといろいろあります…。

- 施設ってどんなところか実際に見学してみたい  
→隣接する高齢者施設の見学を実施した。
- 役所から届いた書類の書き方がわからない  
→書き方をサポート。
- 民生委員さんが地域の介護事業について知りたいと相談  
→「知っておこう！介護サービス」という企画に参加をすすめた。民生委員さんは参加後、担当地区の高齢者に情報を提供した。

## 活動したい！



地域活動についての相談は地域コーディネーターの得意分野。長年紡いできた関係性を活かしてつなぎます。

- 年を取ったけれどだれかの役に立ちたい 学生としてボランティア実績を作りたい  
→こどもカフェや地域食堂などのボランティアをコーディネート。
- 町会で子ども食堂を立ち上げたい  
→実際に運営する方々と説明会を企画し、立ち上げにつながった。
- ライブ演奏や作品の展示などができる活動の場を探している  
→喫茶アルルカンやギャラリー、風の杜ひろばでのマルシェへの出展につなぎ、実現している。

## 心配、困った！



ちょっとした困りごと…、身近なあの人の様子が心配…。

- 企画に参加した人の様子が心配  
→地域包括支援センターにつないだ。
- 認知症の父親を家族が怒鳴りつける大きな声が毎日聞こえてくる…  
→ご近所の方から相談を受け、父親の通う施設の担当者に状況を説明し、担当者ご家族が話し合い、施設への入居が決まった。
- ケガをして掃除ができず困っている／ひとりで通院するのが不安  
→街ねつとの生活支援サービスを紹介した。
- 訪問介護の利用者のごみ出しボランティアを探してほしい  
→地域のボランティアにごみ出しの活動を依頼した。
- 転居したばかりで顔見知りができない  
→高齢者サロンや地域食堂にお誘いし、お仲間もできた。
- 保育園から年長児の昔遊びを手伝ってくれる高齢者がいないかと相談  
→シニアサロンに参加していた高齢女性に依頼。「喜んでボランティア活動したい、これからの生きがいが見つかりました」と。

## 子育ての悩み！



子育てリラックス館では、来館する保護者から育児や発達などについての相談が寄せられます。

- 食べてくれない／トイレトレーニングがうまくいかない 最近、歯磨きが嫌いで困っている／最近嘔むようになった 指しゃぶりはいつまでさせてもいい？…etc.  
→子育てリラックス館には保育士などの資格を持つアドバイザーが常駐していて、その場で悩みにお答えしています。
- 小児科など医療機関を知りたい  
→千葉市の医療機関検索サイトを紹介した。
- 子どもがいて美容院にも行けない  
→理由を問わない一時預かり「たあ～たん」を紹介。  
※子どもの発達・発育の相談で、保健師につなぐこともあります。

## 救急車を頻繁に呼んでしまう



救急車を頻繁に呼ぶ人の中には病気以外の問題を抱えている人もいます。救急車を必要とする人の妨げにならないようサポートしています。 【千葉市消防局の委託事業】

- 基本的には消防局のリストアップ対象者に電話したり、現場で救急隊員が配布する街ねつと相談専用連絡カードを見て電話してくる相談に対応しています。ただ、相談者は精神的に不安定な人がほとんどで、内容は同じことの繰り返しになりがちで解決に至ることはあまりありませんが、少しでも救急車要請が減少するよう取り組んでいます。
- 寂しくなると電話をかけてくる。病院への不満もあり、診療に同行してほしいとの要望があった  
→こちらからも定期的に電話で様子を伺い、病院に同行して診察にも同席した。